



平岡北小学校だより

『いよいよ冬休み！日本の伝統行事「お正月」』

長い2学期も今日で終わりです。とても暑かった夏から始まり、秋を越えて、もう冬ですね。季節の移り変わりとともに、皆さんはたくさんのこと経験し、大きく成長しました。校外学習、校内・ふれあい音楽会、人権参観、…などの行事でも、皆さん一生懸命な姿、友達と協力する姿、そして最高の笑顔を見ることができました。普段の授業でも、1学期に比べて『わかった！』という声や、手を挙げる人が増えました。皆さんの頑張りに大きな拍手を送ります！
いよいよ冬休みです。ゆっくり休んで心と体をととのえながら楽しくすごしてください。



さて、冬休みには、日本の大切な行事「お正月」があります。今日は、その中でも日本の伝統行事について、少しお話しします。お正月は「年神（としがみ）さま」という新しい年の幸せや実りをもたらす神さまをおむかえする行事といわれています。そのために、家には門松やしめかざりをかざり、年神さまの居場所をあらわす鏡もちをそなえます。おせち料理にも、長生きや健康、実りを願う意味がこめられています。どの料理にどんな意味があるのか興味のある人は調べてみてください。そして、みなさんが楽しみにしているお年玉。実はこれにも、日本の昔からの由来があります。昔はお金ではなく、鏡もちの一部を分けて子どもに渡していました。これは「年神さまからの“たましい（魂）”をわけてもらう」という意味で、「年玉（としだま）」と呼ばれています。つまりお年玉は、本来“年神さまからいただいた力”という願いがこめられているのです。時代が進む中で、鏡もちのかわりにお金を包む形に変わり、今のお年玉になったと言われています。お正月の行事は、どれも「新しい一年を元気に、幸せに過ごせますように」という思いが込められた、大切な日本の伝統です。みなさんも、ご家族といっしょにその意味を感じながら、新しい年の目標を考えてみてください。3学期、みなさんが元気な笑顔で学校に来てくれるのを楽しみにしています。どうぞ、安全で、あたたかい冬休みを過ごしてください。



保護者の皆様、学期末の個別懇談ありがとうございました。2学期も子供たちが安全に安心して学校で過ごせるようにたくさんのご協力をいただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。これから厳しい寒さが続きますがどうぞご自愛いただき、よいお年をおむかえ下さい。